

受付番号：17402

課題名：硝子体手術後、腹臥位安静患者の褥瘡発生危険因子の調査

1. 研究の対象

2017年2月～2019年8月に当院眼科病棟に入院し、硝子体手術を受け、術後腹臥位治療を実施された方

2. 研究期間

2019年12月（倫理委員会承認後）～2022年3月

3. 研究目的

硝子体手術をした際、術後腹臥位治療が必要となる人がいます。長期間腹臥位治療を行うと、額や肘などに褥瘡ができることがあります。そのため、褥瘡ができた人はどんな特徴があったのかを調査し、今後の腹臥位治療を行う患者の褥瘡予防につなげたいと考えました。

4. 研究方法

硝子体手術後、腹臥位治療を行った患者のカルテから情報を収集し、褥瘡ができた人と、できなかった人とでどのような差があったかを統計的に調査する。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、既往歴、入院期間、腹臥位期間、栄養状態を示す採血データ、BMI、視力 等

6. 外部への試料・情報の提供

該当無し

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：久慈 瑞希

東北大学病院 西12階病棟

〒980-8574

仙台市青葉区星陵町1-1

TEL 022-717-7846

研究責任者：酒井 由里

東北大学病院 西 12 階病棟
〒980-8574
仙台市青葉区星陵町 1-1
TEL 022-717-7846

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先:「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「[配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ](#)」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合